



日比谷総合設備株式会社
日比谷通商株式会社

2024年11月18日

データセンターの次世代冷却システム「新型チルドタワー」の販売開始

日比谷総合設備株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:中北英孝)の連結子会社である日比谷通商株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:村田俊之)は、桑名金属工業株式会社(本社:三重県桑名市、代表取締役社長:河村元志)が開発した現行型より更にコンパクト設計された「新型チルドタワー(CTS-A075M)」の販売を開始いたしました。

新型のチルドタワー[®]は従来型に比べ更にコンパクト設計されており、モジュール構造を採用しているため、複数台を連結して一つのモジュールとして制御可能です。最大25台(1.9MW)の連結が可能となっています。

今後、より高密度化し、発熱量が大きくなる水冷サーバーや液浸冷却方式に向けて、要求される冷却水を所定の送水温度まで冷却可能な専用熱源としての採用が期待されます。

本システムには、以下3つの特長があります。

1. 設置スペースが限られる屋上設置に対応したコンパクト設計
(現行機種より設置面積40%削減)
2. R32 冷媒採用により環境負荷低減
(現行機種より冷媒による地球温暖化への影響を80%削減※)
3. 冷凍サイクルのリニューアル(現行機種よりランニングコスト25%削減※) ※メーカー試算値

日比谷総合設備グループは、今後も、環境負荷低減に寄与する製品の提供拡大に努め、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

【お問合せ先】

日比谷総合設備株式会社 管理本部 IR・広報室
〒108-6312 東京都港区三田三丁目 5 番 27 号
Tel:03-3454-2720 FAX:03-3454-3410

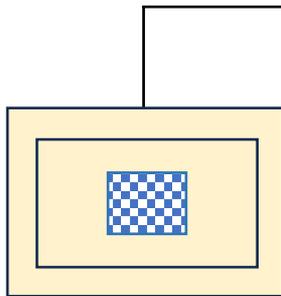
日比谷通商株式会社 機器販売部
〒108-6312 東京都港区三田三丁目 5 番 27 号
Tel:03-3454-7536 FAX:03-3453-7770

※ご用命の際は機器販売部までご連絡をお願い致します

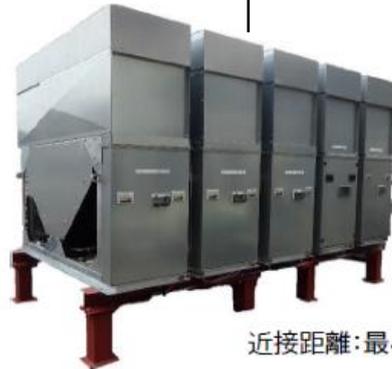
新型チルドタワーCTS-A075Mのご紹介

新型のチルドタワーCTS-A075Mはモジュール構造を採用し、複数台をヘッダーで連結して一つのモジュールとして制御。最大 25 台の連結制御が可能です。(1.9MW)

新型 CTS-A075M



モジュールコントローラー



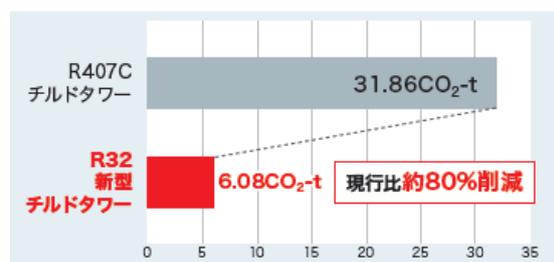
近接距離: 最小90mm

3つの主な特徴

- ・設置スペースが限られる屋上設置に対応したコンパクト設計
(現行機種より 40%削減)



- ・R32 冷媒採用で環境負荷削減
地球温暖化係数 GWP は
現行の冷媒(R407C)の約 1/3、
冷媒充填量も現行機種から約 1/2 となりました



メーカー試算値

※冷媒による地球温暖化への影響比較 (GWP 換算 = GWP×冷媒量)
※現行機種 CTS-202A2 との対比

- ・冷凍サイクルをリニューアルして
現行機種よりランニングコスト 25%削減



メーカー試算値

【試算条件】 送水温度 20℃, ΔT=5℃, 冷却熱量 56kW, 東京地方の気象条件

※チルドタワーは桑名金属工業株式会社の登録商標です。